

バスケットボール競技(知的障害部門)申し合わせ事項

6月5日・6月6日 板橋区立小豆沢体育館

競技規則

本項に定める以外は、平成22年度(財)日本障害者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

試合方法及び競技上の規定

現行のバスケットボール競技規則による。(但し、本大会特別規則を別に定める)

- (1) 使用球は、男子は検定皮製7号球とし、女子は検定皮製6号球とする。
- (2) ゴールはリングまでの高さ3.05mとする。
- (3) 各チームは、キャプテンを含む5名のプレイヤーと交代要員10名から構成すること。
但し、男子チームについては、試合に1名の女子が参加できる。
- (4) 各チームは、試合毎に変更になった選手メンバー表を試合前までに大会本部まで提出すること。
- (5) 試合時間は、7分×4クォーター
第1クォーターと第2クォーターの間、第3クォーターと第4クォーターの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。第2クォーターと第3クォーターの間に8分のハーフタイムをおく。
※笛が鳴った時は、すべて時間を止める。
- (6) トーナメント戦について
第4クォーターを終わって同点の場合は、2分の休憩後5分の延長戦を行う。
- (7) リーグ戦について
 - ・ 第4クォーターを終わって同点の場合は、延長戦を行わない。
 - ・ リーグ戦は、勝ち点・・・2 引き分け・・・1 負け・・・0とする。
 - ・ 2チームが同点の場合は、2チームの対戦結果の勝ちを上位とする。
 - ・ 3チームが同じ勝ち点の場合は、2チームのゴールアベレージによって決める。
- (8) 日程及び組み合わせについて
 - ・ 高校生の部は6月5日(土)、社会人の部は6月6日(日)に行う。但し、申込状況により、変更となる場合がある。
 - ・ 組み合わせは、4月26日(予定)に主催者が関係者立会いのもと代理抽選で決定する。
- (9) 個人種目は、団体戦に出場しない選手が参加し、次の試技を行う。
 - ① フィールドゴール・・・30秒間に入るシュート数を競う。2回行い、多い方の得点をとる。
 - ② リバウンド・・・30秒間ボードにパスし、ジャンプ捕球して、着地に成功した回数を競う。
 - ③ ドリブル・・・3mごとに1列に置かれた障害物を、ジグザグにドリブルで通り抜ける。
2個の障害物を通り抜けて1点とする。30秒ずつ2回行い、多い方の得点をとる。

※大会プログラムは、事前に発送する。